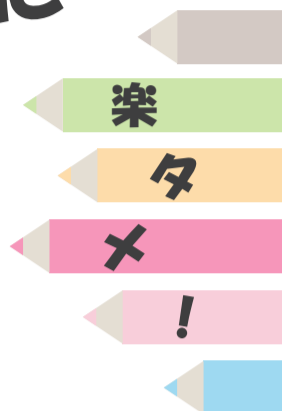


## 第2回

# 楽しくて・ちょっとために なり・元気がでる日!



## 聞いてほしい! 知ってほしい! お話

### 13:30 ~14:10 **楽**しい話 「遊びで育てるコミュニケーション」 森岡典子

幼児の通園施設で言語聴覚士として働いたあと、都立特別支援学校で重度重複障害のある子どもたちの言語コミュニケーションの指導に携わっています。重症児に関わる言語聴覚士で「ST@」というグループを作り、様々なイベントに参加し、重症児の遊び場作りをしています。

### 14:10~14:30 **元**気がでる話 「いのちをありがとう」 山口かほる

生後3ヵ月で脳性マヒと診断されるが、小さい頃から絵を描く事が好きで、16年間研究所で絵を学び、現在も個展を多数開催しています。初めは口で描いていたが医師の助言を受け、現在は足で描いています。

### 14:40~15:00 **元**気がでる話 「ゆたかの笑顔とともに♪」～重症心身障害の子どもが地域で暮らすこと～ 佐藤真弓

医療的ケアを必要とする豊と、高校3年の息子の母。  
東京都重症心身障害児(者)を守る会 小平市分会会長をつとめ、  
地域の中で子どもたちが笑顔で暮らせるよう活動中です。



### 15:00~15:40 **た**めになる話 「Fun for everyone」～すべての子ども達に楽しみを～ 奥山俊博

東京大学先端科学技術研究センター 研究員。福祉機器や制度活用の手伝いをしています。テクノロジーと、障害や困難さのある人の生き方に興味があります。9歳の時に関節リウマチになり、電動車椅子で出かけて楽しんでいます。

### 15:50 ~16:30 **た**めになる話 「障害児・者と共に歩み、共に生きる、まちづくり」 清水敦子

一般社団法人 Calin 昭島キッズサポートてんとうむし代表。昭島市に住んで8年になります。最近の私の『心の癒やし』となっていることが3つあります。一つは家族との食卓の時間。もう一つは、てんとうむしの子どもたちと一緒にいる時間。そしてもう一つは、てんとうむしのスタッフとの雑学豊富な楽しい会話のひとときです。てんとうむしは、まさに毎日が、『楽しくて、ちょっとためになり・元気がでる日』なんです!



入場無料

日にち ● 2018年7月1日(日)

時間 ● 13:30 ~ 16:30

場所 ● 立川市 RISURU ホール

第1会議室

立川市錦町3-3-20 (JR南武線 西国立駅 徒歩7分)

主催: 車椅子シーティング介護研究会

協力: 公益財団法人共用品推進機構

事務局: 有限会社でく工房

042-542-7040

dekumado@deku-kobo.com

